れんめい和歌山

当選おめでとうございます

第 62 号

発行者
和歌山県看護連盟
和歌山市太田4-11-18
リベラルパレス太田501
電　話　073-488-6575
ＦＡＸ　073-488-6580

発行責任者
石橋　隆子

2019・11
CONTENTS

「ごあいさつ」　和歌山県看護連盟　会長　石橋　隆子 …… 2
「看護の力で健康な社会を！」
公益社団法人和歌山県看護協会　会長　古川　紀子 …… 2
「ごあいさつ」　日本看護連盟　会長　大島　敏子 …… 3
「和歌山県看護連盟の皆様」　参議院議員　石田　まさひろ … 4
青年部活動報告　「石田昌弘参議院議員を全力で応援」…… 5～7
新役員挨拶 …… 8
2019 年度　日本看護連盟通常総会　代議員報告 …… 9
2019 年度　和歌山看護連盟通常総会に参加して …… 10
8 月 27 日　石田まさひろ参議院議員施設訪問 …… 11
連盟からのお知らせ・編集後記　他 …… 12

ごあいさつ

和歌山県看護連盟　会長　石橋　隆子

会員の皆様には、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます、
平素は和歌山県看護連盟活動にご協力頂き感謝申し上げます。
昨年の１年を振り返って、第 19 回地方選挙から第 25 回参議院選挙まで各支部長はじめ会員の皆様に支えられ過ごしてまいりました。心より感謝申し上げます。大変な１年ではありましたが、あらゆる機会に多くの人々と御縁を頂きました。そして看護連盟に対する理解も得たと思います。さらに日本看護協会の重点政策・重点事業について理解し、その実現を目指して連盟活動の大切さを広く訴えていかなければなりません。

また昨年度の選挙活動を通して、看護職としてより身近な政治活動について、一人の住民としてできる事にも意識を向けることの大切さを学びました。地方議員との勉強会を計画しています。今後、少子・超高齢社会において看護職の働きが益々拡大しています。今一度看護職として出来る事は何かを考えるときです。現在キャンペーン中の Nursing　Now「看護の力で健康な社会を！」少子且つ超高齢社会における包括ケアの時代にさらに視野を広げて連盟活動に共に頑張りましょう。

看護の力で健康な社会を！

公益社団法人和歌山県看護協会　会長　古川　紀子

平素は看護協会活動にご支援ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。
2020 年は東京オリンピック、パラリンピックの開催年であるとともに、ナイチンゲール生誕 200 年の記念の年でもあります。
ナイチンゲール生誕 200 年にちなみ、日本看護協会と日本看護連盟は、「看護の力で健康な社会を！」を合言葉に「Nursing　Now」キャンペーンを実施しているところです。

県看護協会も、看護職が社会に求められる役割が発揮できるよう、県看護連盟と一丸となって取り組んでいるところです。

和歌山県看護協会は、公益社団法人として８年目を迎えました。「看護の質向上」、「働き続けられる環境づくり」、「看護領域の開発・展開」を使命の三本柱として活動しているところです。また、「治す医療」から「治し支える医療」へという地域包括ケアの時代には、看護職の役割が大きく変わってまいります。そしてまた、看護職への期待も、大変大きくなってきています。

一方で、看護の分野では多くの課題を抱えています。それらに対応していくためには、「ベッドサイドから政治を変える」というスローガンのもとに、看護連盟と看護協会の二つの組織が連携することが大切です。私達、看護職能団体である和歌山県看護協会は、看護連盟と一致協力して、看護の諸課題に対応してまいる決意でございます。

今後とも、和歌山県看護連盟と看護協会へのご支援を、どうかよろしくお願い申し上げます。

ごあいさつ

日本看護連盟　会長　**大島　敏子**

第 13 代日本看護連盟会長に、ご推挙頂いた大島敏子です。

昭和 34 年 7 月、日本看護協会に「看護政治連盟設立準備委員会」が発足、初代看護協会長の井上なつゑ氏が戦後初めての参院選に当選、厚生省医務局に看護課を新設（S23）。その後 9 年間、議員を出せなかった時代に何が起こったのでしょうか？

昭和 31 年には、厚生省看護課が廃止され、年々劣悪になる看護職の労働環境、これを変革するため、私たちの先輩諸姉は、政治的活動の重要性を強く認識し、日本看護協会の目的を達成するための組織団体を設立したのが、日本看護連盟誕生秘話です。これらのことは、日本看護協会史にはっきりと記載されています。連盟会員は、この事実をしっかり知って、いつでも語ることが大切です。看護連盟会員は看護協会員でなければ、会員になれないのもこの誕生に秘話があるからです。

そして、そういう連盟活動の原点として現代に出現したのが「Nursing now」＝看護の力で健康な社会を！という活動です。この活動は、イギリスの議員連盟が活動を立ち上げ、WHO や ICN も賛同して、ナイチンゲールの生誕 200 年に合わせて展開されている世界的なキャンペーンで、イギリス王室のキャサリン妃がパトロン（支援者）になっています。

令和の時代、連盟活動は、「立」から「律」への意識変革です。「自立」とは、立って歩けるようになること、看護の仕事が一通りできるようになり、看護実践能力を身につけた技術の自立を背景に、しっかりお給料も貰い経済的にも自立できた状態です。一方「自律」とは、自分なりの価値基準や信条、理念をもち自ら判断・行動することです。看護連盟の活動は、まさに「自律した看護職」としての行動です。

何のために看護職をしているのか？その答えを他者にも説明ができる状態です。簡単なことではありませんが、明るく・楽しく・元気よく、活動を進めながら自律した看護職をめざしましょう。

Nursing now

看護の力で健康な社会を！

和歌山県看護連盟の皆様

参議院議員　石田　まさひろ

皆様のお力をいただき、7 月の参議院選挙では医療福祉系の立候補者の中で最高得票を得て、再び医療社会保障政策の中心で働く重責を担うこととなりました。

既に新しい任期がはじまっており、国会では新たに自民党と参議院自民党、それぞれの副幹事長を拝命しました。いわゆる汗をかく地味な仕事ですが精一杯努めてまいります。

また参議院厚生労働委員会の筆頭理事にも拝命されました。引き続き厚生労働政策の中心で社会保障や医療などについて議論を進めていきます。

看護職員ひとりひとりの働く環境を改善し、「いい看護ができた」という実感を日々得られる、プライドとプロ意識をもって看護が出来る、そんな現場をめざします。

そのために必要な人員確保、ヘルシーワークプレイスづくりの浸透、処遇の改善、資質の向上、すべての制度を整えたい。

Nursing now の精神を広げ、看護の力で明るい未来を導きます。

ひとりひとりが幸せを実感しながら暮らしているなら、長寿社会は幸せを長く感じる明るい社会であるはずです。しかし、未来に対して不安を抱く方が多いことも承知しています。では長寿社会で幸せを実感するために何が必要でしょうか。

たとえ、高齢になったり障害を持ったり病気になったりしても、あるいは人生を終わろうとする時でも、適切で充分な支えがあれば幸せを感じることができる。

それは私が看護師としてベッドサイドで患者さんと寄り添いながら確信してきたことです。

今必要なのは、確かな支えです。支える人としくみをしっかり確立しなければなりません。

そのために健康医療福祉等の様々な現場、そして暮らしの場での多くの課題を解決して参ります。

また来年の診療報酬改定に向け看護連盟の皆様と歩調を合わせ、議論を進めています。記録の簡素化も直近の課題として取り組んでいるところです。

今後とも見守り続けていただけますよう、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

青年部活動報告

第三支部　青年部リーダー　浦野　恵美

皆様、和歌山県看護連盟に青年部があること、ご存知でしょうか。青年部は日本看護連盟事業計画の「若手会員の育成」という目標達成にむけ、各支部、基点病院のメンバーが主に若手会員の連盟活動への参画、会員の獲得などをおこなうために活動しています。しかし、和歌山県は医療施設、看護師数など、地域によってばらつきがあることや青年部活動の認知度が低く、青年部活動の担い手が少ない現状があります。

そこで、若手会員の方はもちろん、全ての会員の皆様に青年部の活動を知っていただきたく、今月号より、活動報告を掲載させていただく運びとなりました。今後も青年部活動へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

石田昌弘参議院議員を全力で応援

Mission 1

懇親会を盛り上げろ！

先月号に掲載された石田議員との懇親会 (平成 31 年 3 月 16 日) では、司会進行、石田議員の案内役、応援うちわの作成等をおこないました。国会議員を招いての懇親会は和歌山県看護連盟としては初めての試みでしたが、参加された方 (会員・非会員問わず) からは参加してよかったとの声をいただきました。石田議員は看護連盟青年部を立ち上げた方なので、青年部にも気さくに声をかけてくれます。「仕事大変だけど、いつもありがとう」そんな言葉に救われます。

第三支部　青年部リーダー　浦 野　恵 美

Mission 2

和歌山に街宣車きたる！

7月には、令和初の選挙となる第 25 回参議院選挙がおこなわれました。和歌山に看護連盟推薦の候補者の街宣車が来訪するのは、Mission 1に引き続き、初の試みでした。7 月 4 日の公示日から 4 日後、ジリジリと日差しが照り付ける 7 月 8 日 (月) のことでした。

当日、石田議員は他県への街宣のため、和歌山県での街宣活動はスケジュール的にも困難であったため、西城看護連盟副会長、が街宣車とともに来県されました。青年部は看護師の象徴である白衣 (ユニフォーム) に石田議員のイメージカラーである赤いハチマキ、選挙と言えば！の白い手袋を身につけ、石田議員が看護職の代表であることをアピールしました。また、青年部も街頭演説の機会をいただくなど、貴重な経験ができました。自分たちの活動が国政の何かを変えるそんなきっかけになれば、看護師の仕事の在り方や働き方が改善すればいいなと本気で思った 1 日でした。

実は、当日の朝早く、石田議員が和歌山県看護連盟の事務所にスケジュールをおして来県されるというサプライズがあり、門博文参議院議員、山田正彦県議会議員、玉木久登県議会議員、丹羽直子和歌山市議会議員、和歌山県看護協会古川紀子会長とともに士気を高めました。和歌山県看護連盟青年部に入ってから、新たな経験が増えていくなと感じるばかりです。

JR 和歌山駅前

JR 和歌山駅前

医療法人スミヤ
角谷整形外科病院

（株）MURO

青年部活動報告

トータルケアセンター
なだい

二階俊博事務所

有田川町　藤並駅前

和歌山県看護協会
看護研修センター

お陰様で多くの場所で、多くの方々に街頭演説を聞いていただくことができました。誠にありがとうございました。

青年部一同

新役員挨拶

和歌山第2支部　支部長
中 尾　ひろみ

～ 先を見据えた恩返し ～

先日の総会で地区支部長就任の承認を頂き、身が引き締まりました。

私事ですが一会員として 41 年間、諸先輩に引っ張って頂き、恥ずかしながら“おんぶにだっこの会員”でした。

その間、看護に従事し得たことは、“看護はとても素晴らしい仕事という気付き”で、その思いは年々確信に変わりました。沢山の感動と人生丸ごとの体験、喜びと感謝をもっての“やりがい”と共に、より多様化・複雑化する看護を肌身に感じてきました。“人々の健康と生活を支えるのは、他でもない私たち看護師！”を具現化する事、そして、激務に耐えながらもいきいきと質の高い看護を精力的に実践し、私を支えてくれた会員たちの生活を豊かにする事、この 2 点を恩返しと信じ、“現場から湧き出た政策提案を届ける！”が、私の小さな決意です。

和歌山第2支部　副支部長
西　　勝 美

この度、第 2 副支部長をさせていただくことになりました。と同時に、7 月の参議院選挙に向けての活動が始まりました。

先輩連盟役員の方々の「安心して働ける看護環境の改善に向け、政策を実現していくために私たちの代表者を国政の場に送らなければならない。私たちの組織は私たち看護師で支えなければいけない」という熱い思いを聞きながら、連盟会員のすそ野を広げていく大切さを実感しました。そのためにも、看護連盟が実現してきた活動や功績を私自身が理解し、伝え一人でも多くの会員を増やすことができたらと思っています。微力ですがどうぞよろしくお願いします。

2019 年度　日本看護連盟通常総会　代議員報告

紀南支部　支部長　**澤 越　純 子**

令和元年６月１４日（金）、ザ・プリンスパークタワー東京において開催された 2019 年度通常総会に代議員として参加しました。代議員 586 名、役員 16 名、一般会員 1,108 名、計 1,710 名で開催されました。

まず、草間朋子日本看護連盟会長より挨拶があり、日本看護連盟は本年、創設 60 周年を迎えました。多くの先輩の皆様の努力により、看護を取り巻く環境は、この 60 年間に大きく変革しました。当時は看護職を選ぶ人は少なかったが、現在では誰もが就きたい職業となり、子供のあこがれとなっています。

「治す医療」から、「予防し、治し、支える医療」への変革を図り、地域包括ケアが進められる時代の流れの中で、国民の QOL の向上に貢献していく時代・社会を迎えております。看護職は素晴らしい職業となりプライドを持ち元気に明るく世の中に向け声を出していくことが大切です。そのためには現場からの声は確実に伝え、その声を解決していくことができる組織力・政治力の強化が必要です。「数は力です」現在就労している看護職は 170 万人、日本看護協会の会員は 75 万人ですが、「看護問題を解決するための連盟の存在、活動の重要性」を理解し、看護連盟に入会している看護職はわずか 20 万人しかおりません。力強い組織としていくために、一人でも多くの看護職の入会が必要です。

７月には第 25 回参議院選挙が控えております。看護連盟の「組織力」が問われる大事な選挙です。名実共に看護連盟の存在感、政治力をアピールする絶好の機会です。看護職代表の国会議員を高い得票数で国会に送り出すために、会員の皆さまの力を結集しましょうと、力強い挨拶でありました。

続いて、７月の参議院選挙に向けて、石田まさひろ決起大会が行われました。多くの来賓の応援演説では、石田まさひろが、厚生労働委員長として重要なポストで活躍されていて今後においても期待されていることが伝わってきました。石田まさひろの挨拶では、長寿社会に向けて変化の速度が高まっている。このような社会を支える看護の未来が輝くためには政治力が必要。連盟の一人一人が看護の未来を作っていることを自覚し共に頑張ろうと力強く挨拶をされました。７月の参議院選挙には連盟一同が全力で応援して行こうと熱意あふれる会場で、全国の看護連盟員の熱い思いを共有した一日でした。

2019 年度　和歌山県看護連盟通常総会に参加して

日高支部　青年部リーダー　**坪 内　界 士**

令和元年 6 月 23 日、和歌山県勤労福祉会館プラザホープで「2019 年度和歌山県看護連盟通常総会」に青年部リーダーとして出席したので報告します。

会員 259 名、委任状 920 名、議長団 2 名、役員 26 名、計 1,207 名で開催されました。

まず和歌山県看護連盟の石橋会長から挨拶があり、東京で行われた日本看護連盟通常総会での報告や 7 月に行われる第 25 回参議院選挙に日本看護連盟組織代表者候補者の石田昌宏議員が高い得票で当選できることを目指し、組織一丸となって活動していくことを宣言されました。

その後、和歌山県看護協会の古川会長、和歌山県副知事や県議会議員の方々がそれぞれ挨拶されました。来賓退席後、議長団 2 名を選出し総会が成立し報告・審議が始まりました。

各会議・研修・代議員・連盟支部・連盟決算・連盟監査のそれぞれの報告がありました。審議事項は第一号議案から第六号議案まで審議後承認され、「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに掲げ、組織代表候補の石田まさひろ氏を全力で応援し、高い得票での当選を目指し、組織一丸となって活動していくことを宣言されました。

新旧役員挨拶があり、綱領宣言・日本看護連盟歌斉唱があり、総会は無事終了しました。

特別講演はフリージャーナスの会会長の大島敏子先生が「看護と政治」を題材に、看護連盟が歩んできた今までの歴史など、大島先生が今まで体験してきた経験談も交えて、講演していただきました。

最後に青年部部長の山本さんが音頭をとり、会場全員で 7 月の参議院選挙に向けて「頑張ろう」コールを行い石橋会長の閉会挨拶をもって閉会しました。

8 月 27 日　石田まさひろ参議院議員施設訪問

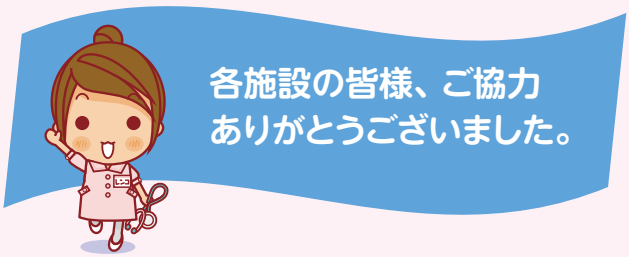
公益財団法人白浜医療福祉財団
白浜はまゆう病院

独立行政法人国立病院機構
南和歌山医療センター

紀南病院

紀南看護専門学校

和歌山県看護協会



施設訪問の途中
闘鶏神社にて必勝祈願 !!

連盟からのお知らせ

和歌山県看護連盟

令和元年度 連盟会員 入会受付中！

日本看護連盟会費	5,000 円
和歌山県看護連盟会費	3,000 円
年会費　計	8,000 円

皆様のご入会をお待ちしております。

編集後記

会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか？
今回の選挙では、石田まさひろ参議院議員が無事に当選することができました。
会員の皆様や多くの方々にお世話になり、本当にありがとうございました。
今後とも暖かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

広報委員一同

東洋羽毛の 無料!! コーヒーサービス

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホッと一息つきませんか？・

（片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を置かせて頂いております。ご購入にも応じます。）

どんな所でも無料で出張サービスさせて頂きます

東洋羽毛関西販売株式会社

フリーコール 0120-88-2104 お気軽に御利用ください。